

3年 データ分析

学習目標

本校のデータ分析科の目標・・・「情報社会での基盤形成 統計の理解と活用」

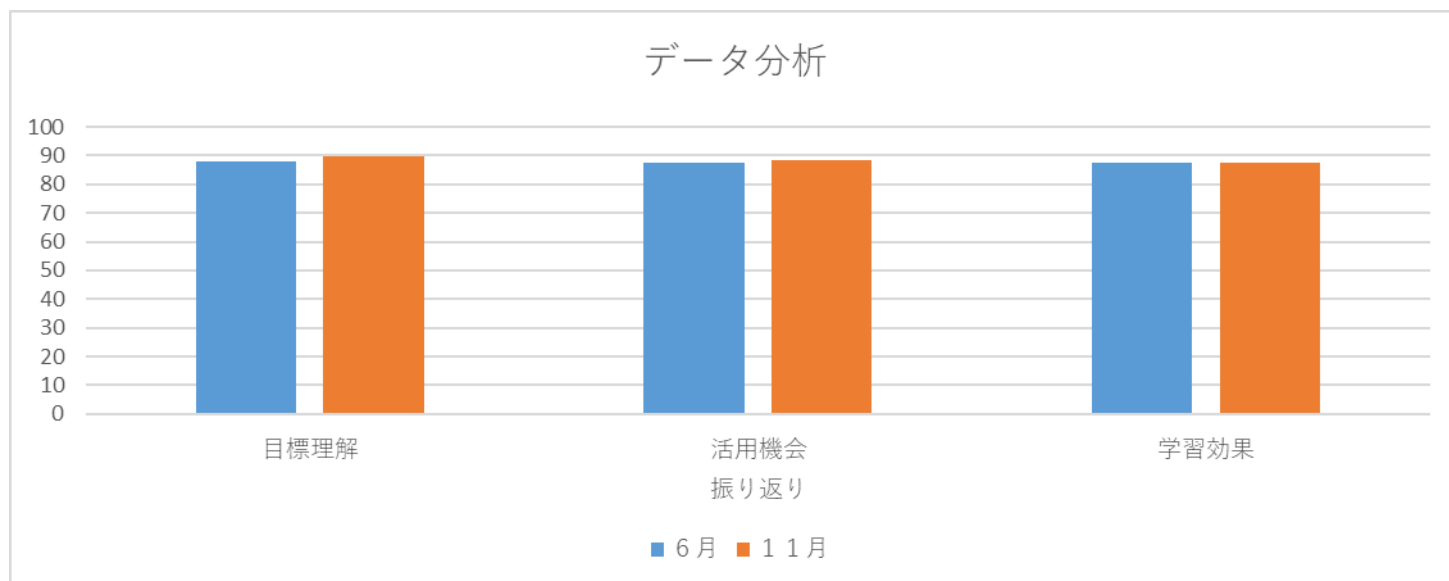
- I 情報モラル…SNS等の利用の注意点や著作権について、事例をもとに考察し、自身の行動につなげることができる。【**学びに向かう態度・人間性**】
- II プログラミング…プログラミングの基本的な仕組みについて理解し、実践できる。【**知識・技能**】
- III ソフトウェアの活用…表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、データを適切な方法で表現し、伝達することができる。【**知識・技能**】【**思考・判断・表現**】
- IV 数学の知識…標準偏差・分散・相関係数などの統計の基礎を理解し、算出できる。【**知識・技能**】
- V データの分析力…既存のデータおよび自身で取得したデータを図表化し、現象を考察できる。
【**思考・判断・表現**】
- VI 学習内容の活用…学んだことをFW活動などで活用する姿勢を持つ。【**学びに向かう態度・人間性**】

学習内容

| | 育成する資質・能力 (何ができるようになるか) | 学習内容／教材 (何を学ぶか) | 特記事項・他 |
|-------------|--|---|--|
| 1 学 期 | <p>【知識・技能】 表計算ソフトを使用できる。III 標準偏差や分散など統計の基礎を理解し、算出できる。IV</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 情報モラルに関する学習を、自身の行動につなげられる。I</p> | <p>◎情報の基礎（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・情報モラル（SNS）(オ) ・情報ネットワーク <p>◎データ分析の基礎（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散，標準偏差，相関(オ) ・表計算ソフト | <ul style="list-style-type: none"> ・情報の選択と発信（文化・する） ・選手のデータと選択（スポーツ・する） |
| 2 学 期 | <p>【知識・技能】 プログラミングを理解する。II 表計算ソフトを使用できる。III</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 目的意識を持って、プログラミングを 実践し、データを取得できる。II 既存のデータおよび自身で取得したデータ を図表化し、考察できる。V</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 協働して課題を解決できる。相互に建設 的な助言ができる。I～VI</p> | <p>◎情報の基礎（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ ・情報モラル（セキュリティ） ・プログラミング ・センサーの活用 <p>◎データの処理と表現（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト ・変数の変換と偏差値 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動や行動の予測（スポーツ・学ぶ） |
| 3 学 期 | <p>【知識・技能】 仮説検定の考え方を把握する。IV 公的データを取得できる。V</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 データを適切な方法で表現し、伝達 することができる。III 既存のデータおよび自身で取得したデータ を図表化し、考察できる。V</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 学んだことを積極的に活用する姿勢 を持てる。III・VI</p> | <p>◎情報の基礎（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル（著作権・引用） <p>◎データの収集と分析（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的なデータの活用 ・プレゼンテーションソフト ・仮説検定の考え方 ・区間推定の利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・選手のデータと選択（スポーツ・する） ・オリジナル教材を扱う ・各種検定や共通テストを取り扱う |

生徒による授業評価

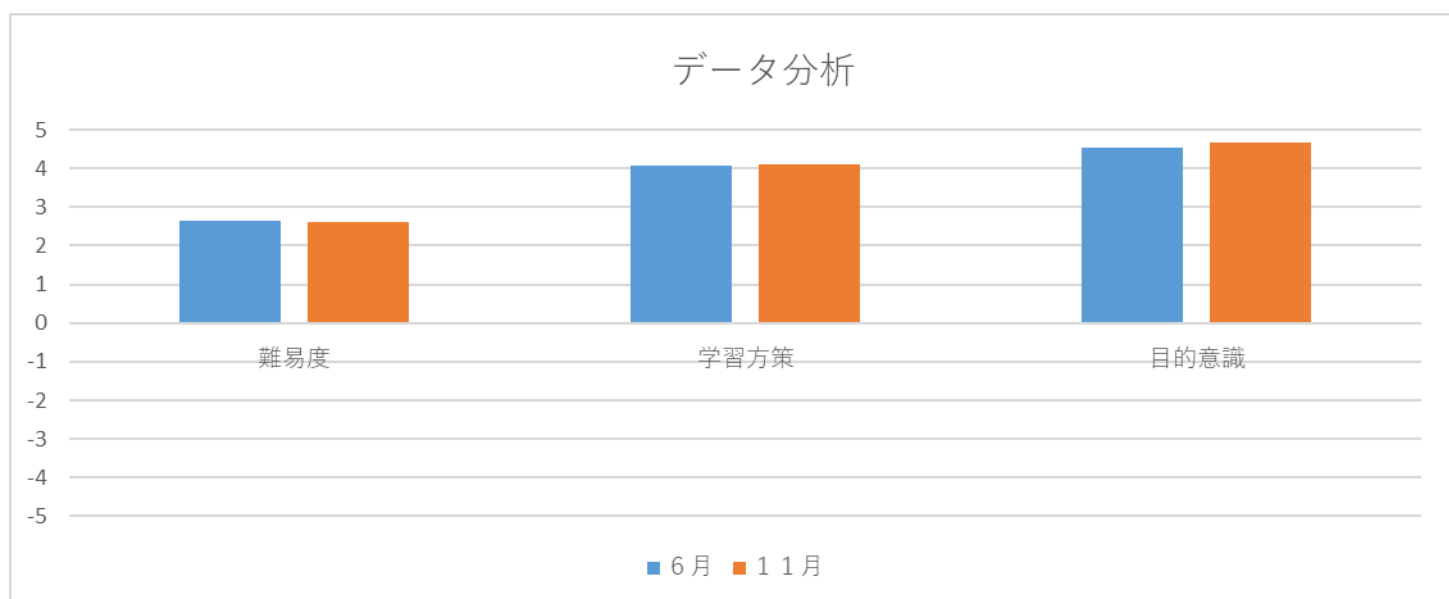
6月と11月に実施した生徒による授業評価の結果は以下の通りである。学習意義をよく理解し、学習効果も感じている。



※目標理解は「学習目標や授業への取り組み方ははっきり示されているか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※活用機会は「習ったことをもとに考える機会が、課題などで整っているか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※学習効果は「授業を通し、学力や技能の向上、自分の進歩が実感できるか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。



※難易度は「授業内容や課題の難易度はあなたにとって」という質問に対して「難しすぎる（10ポイント）」から「易しすぎる（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※学習方策は「この科目の学び方や取り組み方が身についたと思うか」という質問に対して「とてもそう思う（10ポイント）」から「まったくない（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※目的意識は「自分なりの課題や目的を持って日々の授業に臨んでいるか」という質問に対して「とてもそう思う（10ポイント）」から「まったくない（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。